

IV 研修の展開例及び研修資料 ～実践から評価・改善へ～

よりよい教育・保育を展開するためには、保育者自身が教育・保育を振り返ったり、幼児理解を深めたりする機会をもつことが大切です。そのための園・所内研修の方法や平成29年度の「奈良県版就学前教育プログラム」に収録した実践事例を基に作成した研修資料を本章にまとめました。

各園所における研修の充実や、質の高い教育・保育実践に役立てていただきたいと思います。

Ⅳ 研修の展開例及び研修資料 ～実践から評価・改善へ～

就学前教育に係る研修資料 ～実践事例から深める～

本資料は、平成29年度「奈良県版就学前教育プログラム」モデル園・所における実践事例を、園・所及び市町村等の研修で活用できる「研修資料」として編成しました。

場面を思い描いたり、類似した事例を出し合ったりしながら、幼児理解を深め、保育構想力を高めましょう。

ワークショップ型の園・所内研修（例）

奈良県立教育研究所就学前教育センターリーフレット「はぐくむなら 園内研修編」より

チームとしての人間関係が強いほど、教職員間で共通の目的をもっています。それが、同僚性やチームワークを生み、悩みを相談したり助け合ったりする園・所の雰囲気につながります。

- 教職員間のコミュニケーションの充実
- 園・所の目標や保育内容、研究主題などの共有
- 自ら考え、行動する教職員集団づくり

これらの実現に向け、ワークショップ型の研修を取り入れてみてはいかがでしょうか。

（1回目）関係性を深める

- 各教職員の思いや考えを十分に出し合い、互いのことをよく知り、安心して話すことのできる関係性をつくりましょう。
- 議論ではなく、対話を心がけましょう。
- 「ワークショップで大切にしたいこと」を伝えましょう。

<ワークショップで大切にしたいこと>

- 自分が感じていることを素直に話す。
- 相手の話に対する評価、否定、批判は避け、共感的に聞く。
- 同じ目線で一緒に悩み考える。
- 偏見をもったり、ここでの話を他人に話したりしない。

テーマに対する一人一人の考えを発言し、教職員同士の理解を深め、目的を共有し、課題解決への意識を高めましょう。

(2回目以降) 課題解決への意欲を高める

1 目的の共有、ルールの確認

- ・ 今回のワークショップの目的を説明する。
- ・ 「ワークショップで大切にしたいこと」を伝える。



2 テーマについて現状を共有する



3 テーマについて「ありたい姿」を話し合う

- ・ テーマについて、どうありたいのかを出し合う。
- ・ 理想や期待、実現が難しそうなことでもよい。



4 話し合ったポイントをまとめる

- ・ ありたい姿に近づくために、重要だと思うポイントをグループでまとめる。



5 全体で話し合ったことを共有する

- ・ 複数のグループがある場合は、全体の場で発表する。



6 これからできることを書く

- ・ 学んだこと、テーマについて今後、自分ができることを書く。

<進行役のポイント>

- ・ 「ワークショップで大切にしたいこと」は、毎回伝えましょう。
- ・ 発言していない人がいれば話すよう促してみましょう。
- ・ 話しやすい雰囲気をつくりましょう。

研修資料及び展開例

【研修資料1】

【C3】ドングリのコマをまわす



環境設定

保育室 ドングリのコマ 絵の具 筆

内容 4歳児

ドングリのコマを回して遊んでいる。最初、うまく回せずに戸惑っている

★こんな場面がありましたか？その時あなたはどうしましたか？まず思い出しましょう

子ども **コマをうまく回したい**

ドングリのコマをうまく回せない

「Aくん、なんでそんなに回るん？」
友達の様子を見る

↓

真似をしながら、繰り返し回して遊ぶ、徐々に上手に回せるようになってくる

↓

「僕のコマって分かるように色を塗りたい」

自分の考えを言うことにより、実現できる体験ができ、次への意欲につながった

保育者(教員)のサポート

「Aくん、うまく回しているよ」一緒にA児の様子を見る

一緒に見守り、応援する

子どもの喜びに共感する

子どもと一緒に絵の具の準備をする

子どもの意見を受け入れながら活動を展開する

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・図形・文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
0		0			0		0		0

考えてみましょう

- 子どもの意見を受け止め、それが実現できる体験を繰り返し経験できるようにするには、保育者はどのような環境を準備すればよいのでしょうか
- この子どもは、今後困難にぶつかった時にどんな対応をするのでしょうか

1 場面を思い描き、その中に見られる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とその具体の様子を出し合ってみましょう。

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

2 子どものやってみたい思いや考えを受け止め、それが実現できるようにするには、保育者はどのように援助したり環境を準備したりすればよいのでしょうか。

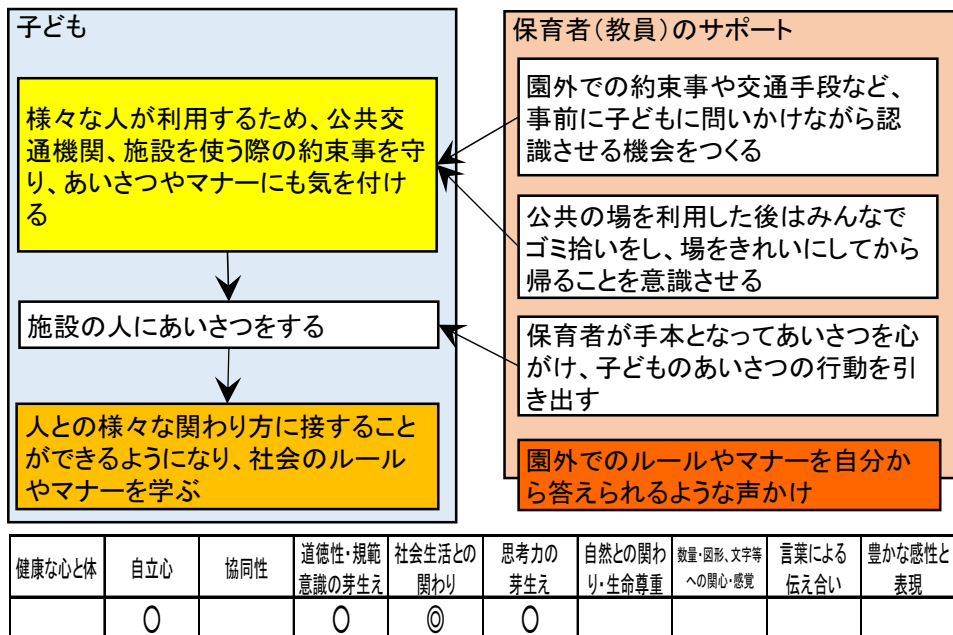
【研修資料2】

【E4】 公共施設へ出かける

環境設定
公園・施設

内容 5歳児
園外の公園や施設へ出かけて遊んだり学んだりする。

★こんな場面がありましたか？その時あなたはどうしましたか？まず思い出しましょう



考えてみましょう

- 自分ならどう関わりますか
- 3歳児や4歳児ならどう関わりますか
- 体験から遊びの発展を想像してみましょう

1 3歳児や4歳児の保育では、どのような関わり方ができるでしょうか。

2 この体験から、どのような遊びにつなげていけるでしょうか。発展させた遊びをイメージして、アイデアを出し合ってみましょう。

【研修資料3】

【C6】水と砂の爆発や


環境設定

砂場 スコップ 水 水を汲む容器 筒(竹製でもプラスチック製でも可能)

内容 5歳児

数人の子どもが砂場遊びの場面で水を流して川を作っている。

★こんな場面がありましたか？その時あなたはどうしましたか？まず思い出しましょう

子ども	砂と水の爆発をつくりだしたい	保育者(教員)のサポート							
A児「先生、もっと道具を出してほしい。川をつくるねん」		「こんなのいるかな？」と、筒(トンネル型)を1つ出す							
始めは、トンネルとして活用していたが、途中から筒を立てて砂を詰め、筒を一気に抜く遊びをはじめた。最初のうちは砂が出てくるだけで面白みがなかったが、砂と水を交互に入れたり、配分を変えたりしながら、筒抜きを繰り返した。B児「先生来て来て、びっくりするのができたよ」		「何？どうしたん？」							
保育者の声かけで他の子どもたちも集まってくる。A児・B児らは「せーの」の声かけで筒を外すと、一気に砂と水が流れ出す		「わあー、本当にびっくりしたよ。爆発みたいやわ」							
道具の新しい使い方を考え、新しい遊びを作り出した		子どもが興味関心を保持する素材と活動を提供し、目標を成し遂げるための十分な時間の確保をした							
健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・図形、文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
		0			0	0			0

考えてみましょう

○この事例の「振り返り」の時間に、どのように進めるとさらに教育的効果は高まるでしょうか

○子どもと感動を共有できた経験を出し合ってみましょう

- 1 場面を思い描き、その中に見られる「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」とその具体の様子を出し合ってみましょう。

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

- 2 この事例の「振り返り」をどのように進めるとよいでしょう。上記の姿のうち、何に焦点を当てるか、どのように展開するかなど、その意図も含めて考えましょう。

- 3 子どもと保育者が「わくわくする」場面から、保育を振り返り、「保育わくワークシート」に記入してみましょう。また、それをもとに「保育ほっとホットトーク」をしてみましょう。

※保育わくワークシートは、P45からを参照

【研修資料4】

【C1】 数を数える(セミのぬけがら、いっぱい見付けたよ)

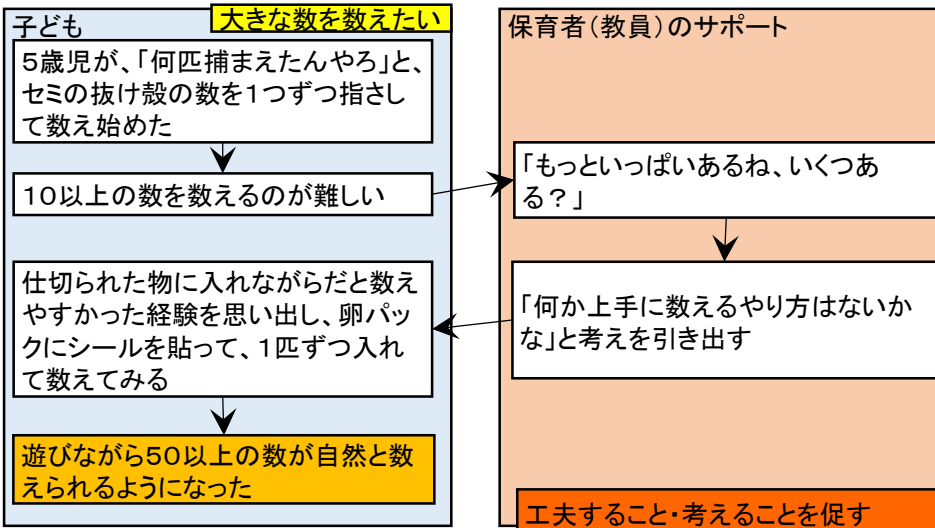
環境設定

園庭 虫取り網、虫かご、卵パック、シール、フェルトペン

内容 5歳児

子どもが見付けて集めていたセミの抜け殻を数え始める。

★こんな場面がありましたか？その時あなたはどうしましたか？まず思い出しましょう



健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり	思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・図形・文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
		0			0	0	◎		

考えてみましょう

- 卵パック以外に、数を数えやすくするものは何がありますか
- 大きな数を数えられるようになったこの子どもは、どんな遊びを考えそうですか
- 数遊びは他にどんな例がありますか

1 セミのぬけがらの数を数えようとするとき、卵パック以外にどのような方法があるでしょうか。

2 大きな数を数えられるようになった子どもは、どのような遊びを考えそうですか。イメージを膨らませて考えてみましょう。

3 子どもたちが数を数える遊びには、どのようなものがあるでしょうか。発達段階を踏まえて、意見を出し合ってみましょう。